

# MAX<sup>®</sup>

# 取扱説明書

このたびは、マックス充電式オーディオ「タフディオ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

## 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用前に必ず充電器・電池パックの取扱説明書を読む。
- 使用しない時は必ずACアダプタの電源プラグを本体から抜き、電池パックをはずす。
- 揮発性可燃物のそばでは使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。
- 本製品には電池パックは付属しておりません。電池パックをご使用になる場合には、別途専用電池パックと専用充電器をお買い求めください。

 Bluetooth<sup>®</sup>

 MAXX AUDIO<sup>®</sup>

マックス充電式オーディオ

**ToughDio**  
タフディオ

AJ-RD431



# 本機の機能

## 高感度 FM・AM ラジオ

P.17

## Bluetooth、AUX外部端子を 利用した、スマートフォン・音楽 プレーヤーの音楽再生

P.23,25

## MAXXAUDIO による 3段階音質調整 ※

P.16

## 『ラジオアラーム』 『ブザーアラーム』 機能 『スリープタイマー』

P.27,29,31

## 簡易 ランタン 機能

P.34

## マックス 14.4Vリチウムイオン電池 及びACアダプタ対応

P.10,12



※ MAXXAUDIO は Waves Audio Ltd. が開発した音質補正ソフトです。音量に合わせた最適な補正を行うとともに、臨場感を演出します。お使いになるシーンに合わせ、3つの音質パターンを用意しております。

# 目次

各部の名称	3	外部機器を接続して聴く (AUX-IN)	
⚠️ 安全上のご注意	4	外部入力端子接続で音楽を聴く	25
仕様及び付属品と別売品	9	タイマー機能を使う	
使用方法		ラジオアラームを使う	27
準備する		ブザーアラームを使う	29
電池パックカバーの開閉方法	11	スリープタイマーを使う	31
バックアップ用乾電池の取付け	11	その他の操作	
電池パックと充電器の使い方	12	ディスプレイボタンについて	32
電池パックの取付け、取外し方	13	携帯電話を充電する	33
ACアダプタを接続する	14	LEDランタンを使用する	34
FMアンテナを取付ける	14	ヘッドホンで聞く	34
基本操作		性能を維持するために	
時計を合わせる	15	お手入れについて	
電源を入れる／電源を切る	16	本体はきれいに	35
電源をオフロック (電源OFF状態で固定) させる	16	取付けねじの点検	35
入力ソースの切り替え	16	製品の保管	35
音量を調整する	16	故障かな?と思ったら	
音質を調整する	16	通常使用時に関して	36
ラジオを聴く		Bluetooth機器との接続に関して	37
放送局を選ぶ	17	保証とアフターサービスについて	
よりよく受信するために	18	保証について	38
外部機器を接続して聴く (Bluetooth)		アフターサービスについて	38
Bluetooth無線技術について	19	全国販売拠点、サービス拠点	裏表紙
周波数について	20		
機器認定について	20		
機器をペアリング (登録) する	21		
ペアリング (登録) 済みの機器を再接続する	22		
Bluetooth接続で音楽を聴く	23		
Bluetooth接続を終了させるには	24		



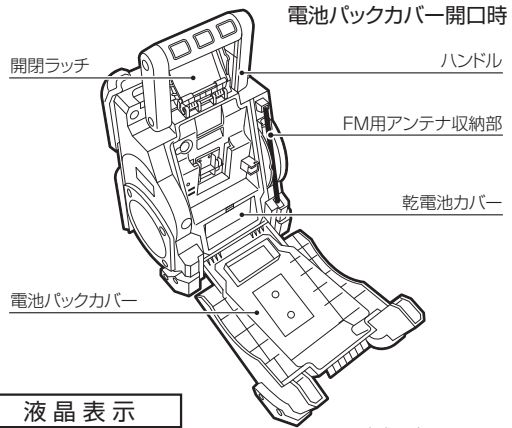
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マックス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



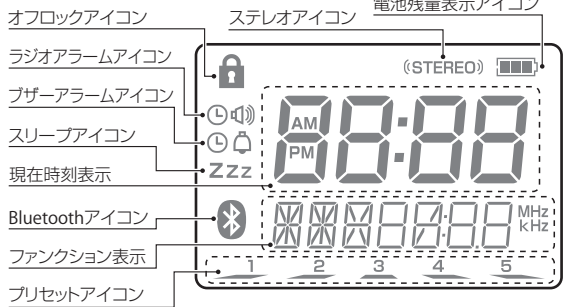
MAXXAUDIO® のワードマークおよびロゴは、Waves Audio Ltd. が所有する登録商標であり、マックス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

# 各部の名称

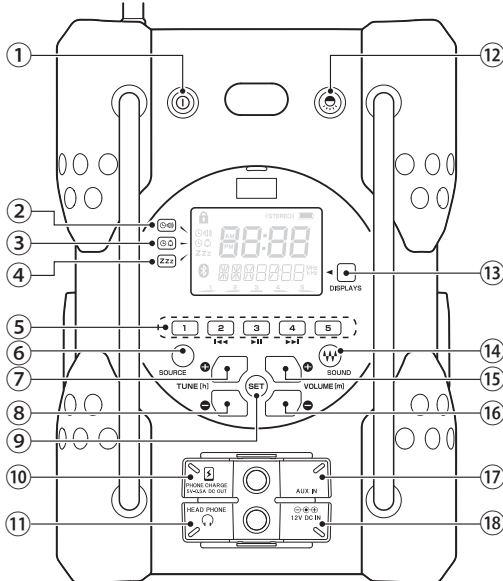
## 外観



## 液晶表示



## 操作部



- |   |                  |
|---|------------------|
| ① | 電源ボタン            |
| ② | ラジオアラームボタン       |
| ③ | プザーアラームボタン       |
| ④ | スリープボタン          |
| ⑤ | プリセットボタン         |
| ⑥ | ソースボタン           |
| ⑦ | チューニングボタン(+)     |
| ⑧ | チューニングボタン(-)     |
| ⑨ | セットボタン           |
| ⑩ | USB充電端子(5V/0.5A) |
| ⑪ | ヘッドホン端子          |
| ⑫ | LEDランタンボタン       |
| ⑬ | ディスプレイボタン        |
| ⑭ | サウンドボタン          |
| ⑮ | ボリュームボタン(+)      |
| ⑯ | ボリュームボタン(-)      |
| ⑰ | 外部入力端子           |
| ⑱ | ACアダプタ接続端子       |

# ▲ 安全上のご注意

## ■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**▲ 警告**、**▲ 注意**、**ご注意** に区分してありますが、それぞれ次の意味を表します。



**警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**▲ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**ご注意**

製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なご注意。

## ■絵表示について



「してはいけないこと」を意味しています。

この記号の中や近くが表示は、具体的な**禁止内容**です。



「しなければいけないこと」を意味しています。

この記号の中や近くが表示は、具体的な**指示内容**です。



「気をつけるべきこと」を意味しています。

この記号の中や近くが表示は、具体的な**注意内容**です。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## ⚠ 安全上のご注意

### ⚠ 警告



専用の充電器や電池パック・ACアダプタを使用する。

- ・ 指定以外の電池パック・ACアダプタは使用しないでください。
- ・ 指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
- ・ 指定した電池パック以外は充電しないでください。指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱のおそれがあります。



使用前に必ず充電器・電池パックの取扱説明書を読む。



ACアダプタは表示された電源電圧で使用する。

- ・ 付属のACアダプタは日本国内専用です。必ずAC100Vのコンセントにつないでください。異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



ACアダプタの電源プラグは根元まで確実に差し込む。

- ・ 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災のおそれがあります。定期的に電源プラグを抜き、ゴミやほこりを乾いた布でふき取ってください。



屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐにFMアンテナをはずす。

- ・ 感電のおそれがあります。



電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしない。

- ・ 火災の原因になります。



ACアダプタをコンセントや本体から抜くときは、コードを引っ張らない。

- ・ コードが破損し、火災や感電の原因となります。



ACアダプタのコードを傷つけない。

- ・ 加工したり、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、熱器具に近づけるなどしないでください。コードが破損し、火災や感電の原因となります。

## ⚠ 安全上のご注意

### ⚠ 警告



機体内部に指定外の物や水などを入れない。

- 電池パックカバー内部は、ACアダプタの収納、指定部への電池パックの装着、FMアンテナの収納、乾電池の装着以外には使用しないでください。金属類や燃えやすいもの、水などが入ると、感電や火災のおそれがあります。



異常を感じたら絶対に使用しない。

- 電源が入らない、音が出ない、本機が高温になるなど、使用中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。
- 修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。



使用しないときや設置場所を移動するときは、ACアダプタの電源プラグとコネクタを電源と本体から抜く。

- 感電や火災のおそれがあります。



濡れた手でACアダプタの電源プラグやコネクタの抜き差しをしない。

- 感電のおそれがあります。



分解や改造をしない。

- 感電や火災のおそれがあります。
- 修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー（株）へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

# ⚠ 安全上のご注意

## ⚠ 注意



各接続端子を使用しないときは、必ず端子カバーをはめておく。

- ・事故や故障の原因となります。



電池パックカバーは電池パック交換時以外は閉めておく。

- ・事故や故障の原因となります。



不安定な場所に置いたり、ハンドルやガードバーを使ってつり下げて使用しない。

- ・落下などによりけがや故障の原因となります。



本機に腰かけたり踏み台にしない。

- ・事故や故障の原因となります。



油煙や湯気が当たるような場所に置かない。

- ・火災・事故の原因となります。



冷気が直接吹き付ける所や、極端に寒い場所に置かない。

- ・結露により、漏電や焼損の原因となります。



本機や電池パックを、密閉した自動車内や直接日光が長時間あたる場所には置かない。

- ・火災や事故の原因となります。



長期間使用しないときは、本体から電池パックを取り出しておく。

- ・本体や電池パックの故障の原因となります。



乾電池の取り扱いに注意する。

- ・乾電池の取り扱いを誤ると、破裂したり、液漏れして、火災、けがや周囲を汚す原因となります。以下の点に注意してください。

- ◆ 指定以外の乾電池を使用しない。
- ◆ 乾電池を加熱、分解しない。
- ◆ 火や水の中に入れない。
- ◆ 乾電池は充電しない。
- ◆ 乾電池のプラス (+) とマイナス (-) を間違えたり、ショートさせたりしない。
- ◆ 一度使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
- ◆ 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
- ◆ もし液漏れが発生した場合には、乾電池ボックスについた液をよくふき取る。
- ◆ 万一、もれた液体が体についたときは、水でよく洗い流す。



## ⚠ 安全上のご注意

### ⚠ 注意

- 点灯中のLEDランタンは直視しない。**
  - 目を痛めるおそれがあります。
- 本機を航空機内で使わない。**
  - 電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
- 本機を医療機器の近くで使わない。**
  - 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- 本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。**
  - 電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 本機は国内専用です。**
  - 海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

聴覚保護のため、以下の点に注意してください。

### ⚠ 注意

- 音量を下げてから電源を入れる。**
  - 大音量のまま電源を入れると、突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり聴覚障害の原因となります。
- 長時間連続で使用せず、耳を休ませるために必ず休憩を取る。**
  - 一般的に安全な音量であっても、長時間長期にわたって音を聞き続けた場合、聴覚障害を引き起こす場合があります。
- 耳の調子に違和感を感じたら、すぐに使用を中止し、医師に相談する。**
  - そのまま使用を続けると、症状が悪化する場合があります。
- ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない。**
  - 片側のヘッドホンを外し、外した方から聞こえてくる通常の話し声と同じ程度に聞こえるように、音量をあわせてください。
- 聴覚が順応するまでに、音量を上げない。**
  - 音量には慣れがあります。聴覚が大音量に慣れてしまう前に音量を安全な大きさに調整してください。

# 仕様及び付属品と別売品

マックス充電式オーディオ タフオーディオ	
商 品 名	AJ-RD431
ラジオ周波数帯域	FM : 76~108MHz AM : 522~1710kHz
ス ピ ー カ ー	76mm (8Ω) × 2個
入 力 ソ ー ス	FMラジオ / AMラジオ / Bluetooth / AUX-IN
入 力 端 子	AUX-IN (φ3.5ステレオミニジャック)
出 力 端 子	ヘッドホン端子 (φ3.5ステレオミニジャック) USB充電専用端子 (5V/0.5A、USB2.0準拠) (※3)
実用最大出力(※1)	電池パック使用時 (満充電時) 2.5W × 2 ACアダプタ使用時 2W × 2
電 源	電池パック : マックスリチウムイオン電池/パック14.4Vシリーズ 家庭用電源 : AC100V、50/60Hz (付属のACアダプタ使用時)
消 費 電 力 (ACアダプタ使用時)	待機電力 (OFF時) 1.2W 消費電力 (FM受信、ボリュームレベル12) 4W
1充電あたりの 使用時間 (※2)	3.0Ah電池パック使用時 約14時間 1.5Ah電池パック使用時 約7時間
Bluetooth 規格	Ver.3.0 コーデック SBC class 2 コンテンツ保護 SCMS-T プロファイル AVRCP / A2DP
寸 法	高さ284mm × 幅201mm × 長さ218mm (FMアンテナ除く、ハンドル寝かせ時)
質 量	4.2kg (FMアンテナ、バックアップ用乾電池含む、電池パック、ACアダプタ除く)
標 準 付 属 品	ACアダプタ (12V/1000mA)、単3乾電池 (試用品) × 2

※1 JEITA規格10%ひずみ時の最大出力

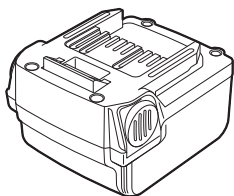
※2 0.05W × 2出力、FM放送受信時 (使用条件や電池パックの状態などにより異なります)

※3 AMラジオ放送はその周波数特性上、USB充電時のノイズにより受信状態が極端に悪化するため、AMラジオ聴取時には充電はできないようになっています。

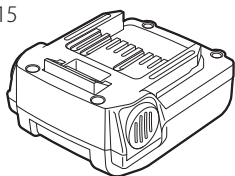
仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 別売品

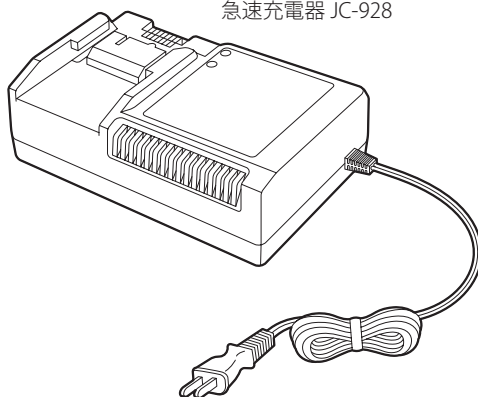
電池パック  
JP-L914



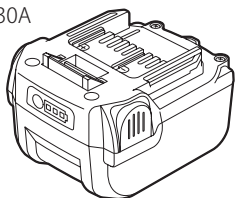
電池パック  
JP-L91415



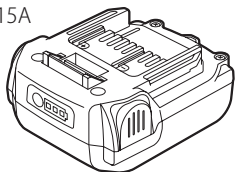
急速充電器 JC-928



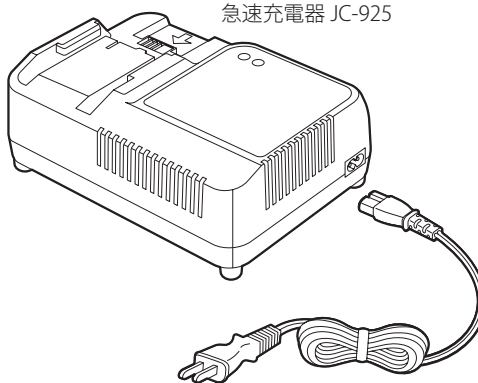
電池パック  
JP-L91430A



電池パック  
JP-L91415A



急速充電器 JC-925



# 使用方法

## 準備する

### 電池パックカバーの開閉方法

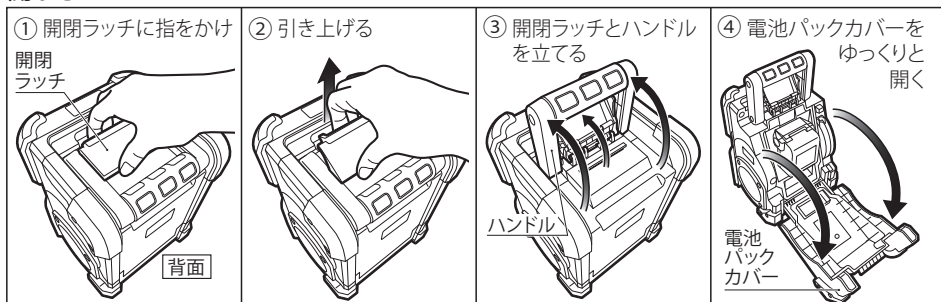
電池パックカバーは、電池パックの取付け・取外しその他、バックアップ用乾電池の取付け、FMアンテナ・ACアダプタの収納の際に開け閉めします。

### ⚠ 注意

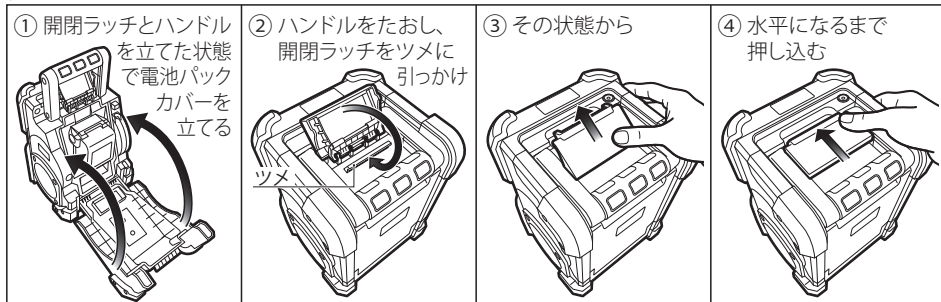


電池パックカバーを閉める際、開閉ラッチは最後までしっかり押し下げ、固定する。ラッチの固定が不十分ですと、意図せず電池パックカバーが開き、怪我や破損のおそれがあります。

### 開ける

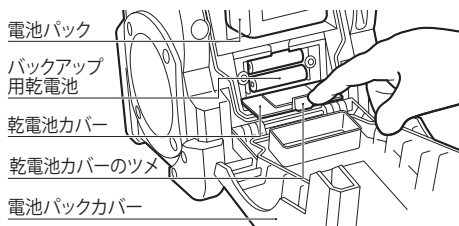


### 閉じる



### バックアップ用乾電池の取付け

バックアップ用乾電池を入れておくことで、電池パックやACアダプタを取外しても時計機能を維持することができます。電池パックカバーを開け、電池パック装着部下部にある乾電池カバーのツメを押し下げ、カバーを開けてください。表示されている乾電池の向きに合わせ、単3乾電池2本を装着してください。



## 電池パックと充電器の使い方

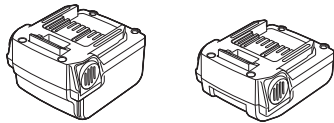
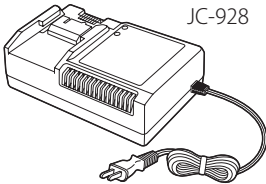

### 警告

**!** 使用前に必ず充電器・電池パックの取扱説明書を読む。

電池パック及び充電器の使い方については、お持ちの電池パック・充電器同梱製品、または単品ご購入時に付属している取扱説明書をご参照ください。

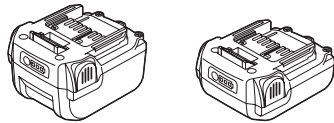
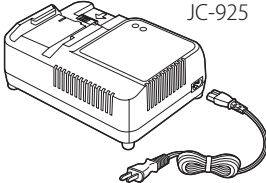

以下のWebアドレスから、それぞれの取扱説明書をご参照いただくことも可能です。スマートフォンをお持ちの場合は、右記のQRコードのご利用も可能です。

#### 残量表示なしの電池パックの場合

電池パック	急速充電器	取扱説明書
JP-L914 JP-L91415 	JC-928 	

[http://wis.max-ltd.co.jp/kikouhin/pdf/torisetsu/jp-l91415\\_jc-928\\_torisetsu.pdf](http://wis.max-ltd.co.jp/kikouhin/pdf/torisetsu/jp-l91415_jc-928_torisetsu.pdf)

#### 残量表示付きの電池パックの場合

電池パック	急速充電器	取扱説明書
JP-L91430A JP-L91415A 	JC-925 	

[http://wis.max-ltd.co.jp/kikouhin/pdf/torisetsu/jp-l91430a\\_l91415a\\_torisetsu.pdf](http://wis.max-ltd.co.jp/kikouhin/pdf/torisetsu/jp-l91430a_l91415a_torisetsu.pdf)

#### ご注意

- 取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告無く変更される場合があります。従いまして、本サイトに掲載されている取扱説明書の内容は、お手持ちの機種に同梱されている取扱説明書や現時点で販売されている機種に同梱されている取扱説明書の内容と異なる場合がありますのでご了承ください。
- 製品には、取扱説明書を補足する為に、安全・使用に関する注意事項・正誤表などの取扱説明書以外の印刷物が同梱されている場合があります。本サイトではそれらの情報全てが公開されておりませんのであらかじめご了承ください。
- 本サービスは、予告無く中止または内容を変更する場合も御座いますのであらかじめご了承ください。

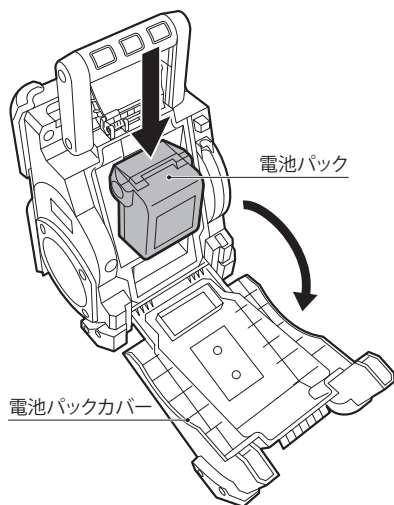
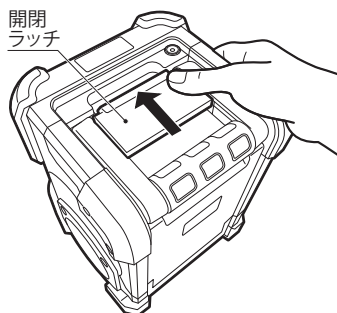
## 準備する

### 電池パックの取付け、取外し方

#### 取付け方

- ①電池パックカバーを開け、電池パックを本機のレールに合わせ上から下へ電池パックを差し込みます(カチッと音がするまで差し込んでください)。
- ②電池パックカバーを閉め、開閉ラッチをしっかりと固定してください。

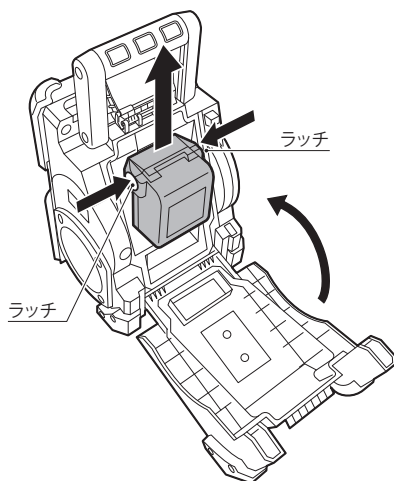
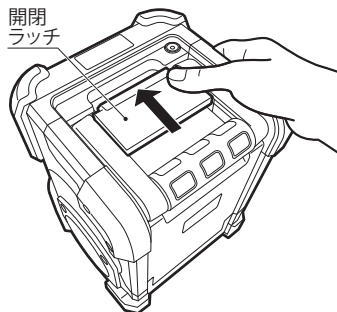
P.11 参照

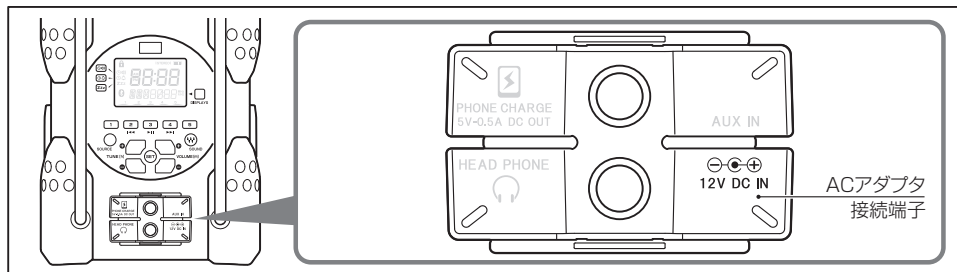


#### 取外し方

- ①電池パックカバーを開け、電池パック両脇のラッチを押しながら、電池パックを上引き抜いてください。
- ②電池パックカバーを閉め、開閉ラッチをしっかりと固定してください。

P.11 参照

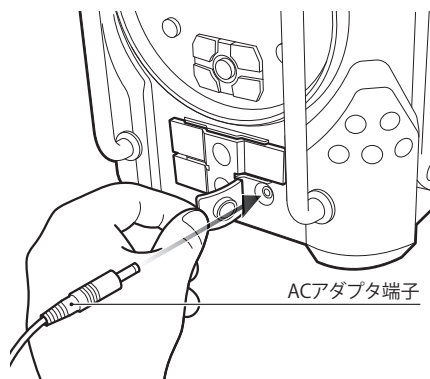




## ACアダプタを接続する

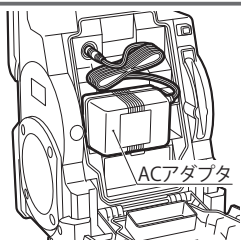
付属のACアダプタで交流100Vの家庭用コンセントから電源をとることができます。

- ①本機前面下部の**ACアダプタ接続端子**にACアダプタ端子をつなぎます。
- ②次にACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。



ACアダプタ端子

※ACアダプタは電池パックカバー内に収納できます。電池パック装着部にある2つの穴にコンセントを、コードガイド部にコードをはめ込んでください(電池パックを取付けたままACアダプタを収納することはできません)。

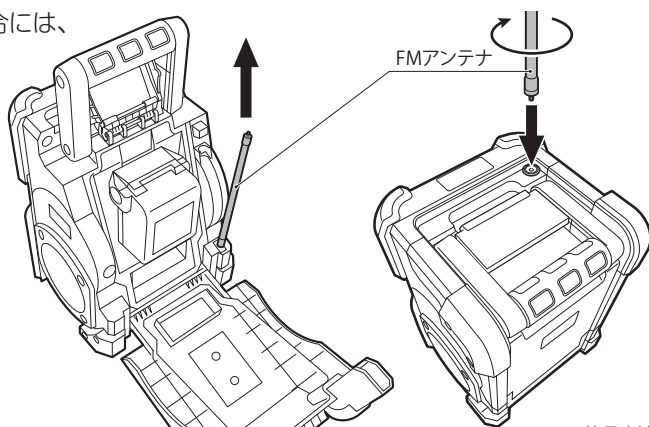


### ⚠ 注意

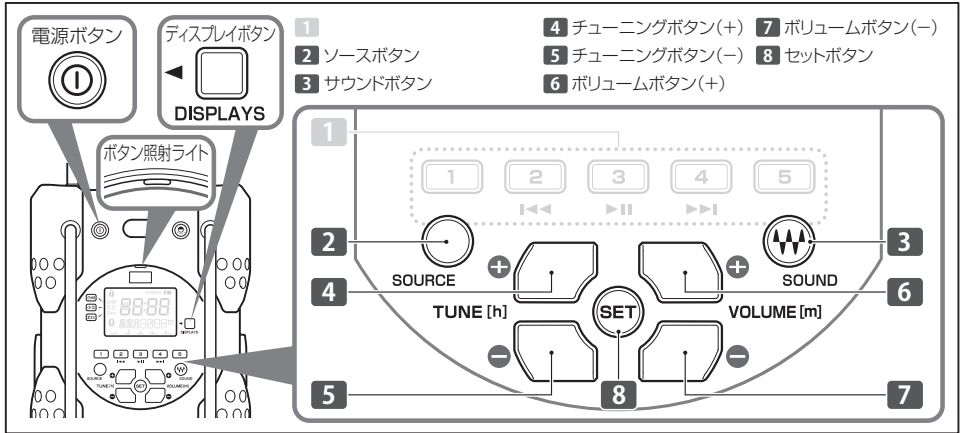
専用のACアダプタ以外接続しない。  
事故や故障の原因となります。

## FMアンテナを取付ける

FM放送を聴取する場合には、電池パックカバー内に収納されているFMアンテナを取付けてください。



## 基本操作



## 時計を合わせる

時計の設定は、電源を切った状態で行います。  
 電池パックを装着、またはACアダプタを接続しておく必要があります。

①電源**OFF**の状態、**(SET)**を**3秒間長押し**します。

② TUNE [h] または VOLUME [m] で**年**を調整します。  
**(SET)**を押します。



③ TUNE [h] で**月**を、VOLUME [m] で**日**を調整します。  
**(SET)**を押します。



④ TUNE [h] で**時間**を、VOLUME [m] で**分**を調整します。  
**(SET)**を押します。



⑤設定完了

※時計を合わせた後、電源を切った状態で **(DISPLAYS)** を3秒以上押し続けると、24時間表示に切り替わります。


再び12時間表示に戻す場合には再度 **(DISPLAYS)** を3秒以上押し続けてください。


### ご注意

- 設定した時刻を記憶させておくには、バックアップ用乾電池が入っている必要があります。
- 時計は長期間使用するうちにずれが発生します。定期的に合わせてください。
- 10秒以上操作しないと、時計合わせがキャンセルされます。最初からやり直してください。



## 電源を入れる／電源を切る



①  を押すと、ボタン照射ライトが点灯し、液晶表示のバックライトがつき、電源がONになります。

② 電源をOFFにするには、再び  を押します。


※本機には、長時間の電源ONの状態が続くと、自動で電源がOFFになるオートパワーオフ機能が搭載されています。最後の操作から8時間以上時間がたつと、自動で電源が切れます。

## 電源をオフロック(電源OFF状態で固定)させる

本機には、意図せずボタンを押して電源が入ったり、アラームが作動することを防ぐオフロック機能が搭載されています。

① 電源を切った状態、または電源が入った状態から、 を2秒間長押ししてください。  
オフロック状態となり、液晶画面に **鍵マーク**  が点灯します。



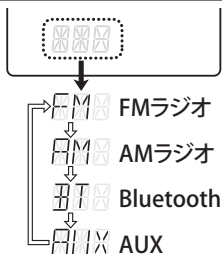
② オフロック状態から再度電源をONにするには、 を2秒間長押ししてください。

## 入力ソースの切り替え



本機では、FMラジオ、AMラジオ、Bluetooth、AUX の4種類の入力ソース(音源)の聴取ができます。



①  を押し、電源を入れます。

② SOURCE  を押し、入力ソース(音源)を選択します。



## 音量を調整する

  を押すと大きくなり、  
VOLUME [m]

  を押すと小さくなります。

※調整は0～30の30段階です。


### ⚠ 注意

聴覚が順応するままに、音量を上げない。

• 音量には慣れがあります。聴覚が大音量に慣れてしまう前に音量を安全な大きさに調整してください。

## 音質を調整する

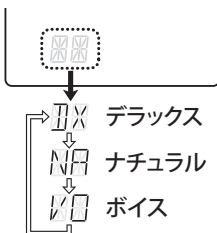
本機は MAXXAUDIO を用いた音質補正・イコライジング機能を搭載しています。

SOUND  を押し、3パターン(DX、NA、VO)の音質から、好みの音質を選びます。

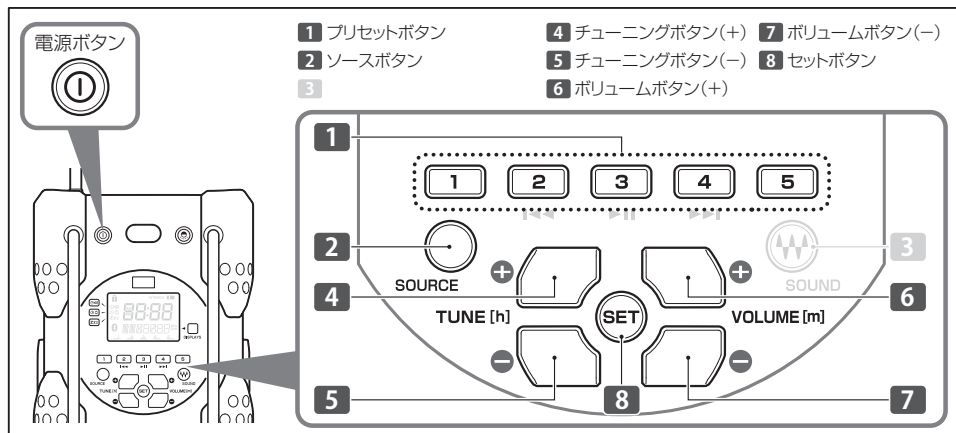
DX(デラックス) …… 低音・高音を強めにし、迫力ある音質が楽しめます。

NA(ナチュラル) …… 自然で聴き疲れしない、澄んだ音質が特徴です。

VO(ボイス) …… 人の声を聞きやすいように設定してあります。



## ラジオを聴く



### 放送局を選ぶ

- ① 電源ボタン を押し、電源をONにします。
- ② SOURCE を押し、FMラジオまたはAMラジオに設定します。
- ③ 自動選局、手動選局、登録（プリセット）選局のいずれかで放送局を選びます。



### 自動選局

- ① TUNE [h] のどちらかを**2秒間長押し**すると選局を開始します。

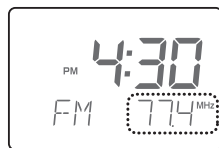


- ② 電波の強い放送局だけを選んで自動的に停止し受信します。

### 手動選局

- ① TUNE [h] のどちらかを押しと、以下の周波数刻みで変化します。

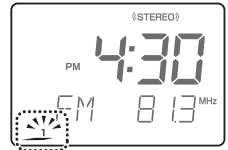
**FM** 0.1MHz刻み    **AM** 9kHz刻み




- ② 希望する放送局の周波数に設定し、受信してください。

## 登録(プリセット)選局

- ① 自動選局または手動選局で、登録したい放送局を受信します。
- ② プリセットボタン **①** を**2秒間長押し**します。
- ③ 液晶のプリセットアイコンが**3回点滅**し、その放送局が登録されます。
- ④ 登録した放送局を選局するときは、登録した番号のプリセットボタン ( **①** **②** **③** **④** **⑤** ) を押します。



プリセットアイコン

- ④  VOLUME [m] のどちらかを押し、音量を調整してください。

- ⑤ ラジオを消す場合には、**①** を押してください。



## よりよく受信するために

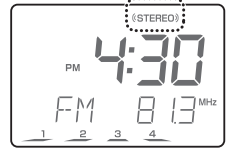
### FM放送

FMステレオ放送を受信すると、液晶にステレオアイコンが表示されます。FMステレオ放送の雑音が多いときは、モノラル受信に切り替えると雑音が軽減され聞きやすくなります。

- ① FMステレオ放送受信中に、**SET** を**2秒間長押し**します。

**STEREO**の表示が消えモノラル受信に切り替わります。

ステレオアイコン



- ② 再びステレオ受信に戻す場合には、再度 **SET** を**2秒間長押し**してください。

※ 極端に受信状態が悪い場合、自動でモノラル受信に切り替わります。この場合には、ステレオ受信することはできません。

### AM放送

本体内部にアンテナがあります。本体を動かして、最もよく受信する向きにしてください。

### 設置場所

車やビルの中では受信しにくくなります。建物の中では窓際に置きますと受信しやすくなります。電気ノイズを発生する機器の近くでは、受信状態が悪くなる場合があります。受信状態が軽減する距離まで離してください。

### 電源

電気ノイズを発生する機器と同じ電源からACアダプタで使用すると、受信状態が悪くなる場合があります。その場合には、電池パックでご使用いただくか、別系統の電源コンセントでご使用ください。

## 外部機器を接続して聴く (Bluetooth)

### Bluetooth無線技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10m程度までの距離で通信を行うことができます。赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格です。

### Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver. 3.0準拠	
対応プロファイル	A2DP	高音質な音楽コンテンツを送受信する
	AVRCP	再生、一時停止、停止など、AV機器を操作する

### 通信有効範囲

見通し距離で約10m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- ・Bluetooth接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ・無線LANが構築されている場所
- ・電子レンジを使用中の周辺
- ・その他電磁波が発生している場所

### 他機器からの影響

Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
- ・10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

### 他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させるおそれがありますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- ・病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ・自動ドアや火災報知機の近く

## ご注意

- Bluetooth機能を使うには、相手側Bluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 予期できない問題が生じた場合、本製品に接続しているスマートフォンや、その他の外部機器の内部に保存されているデータが破損したり、消失したりする可能性があります。万一に備え、必ず事前にバックアップをしておいてください。またデータの破損または消失、および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 周波数について

本機は2.4GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、マックスのお客様ご相談ダイヤルまでお問い合わせください。マックスのお客様ご相談ダイヤルについては、本取扱説明書巻末をご覧ください。

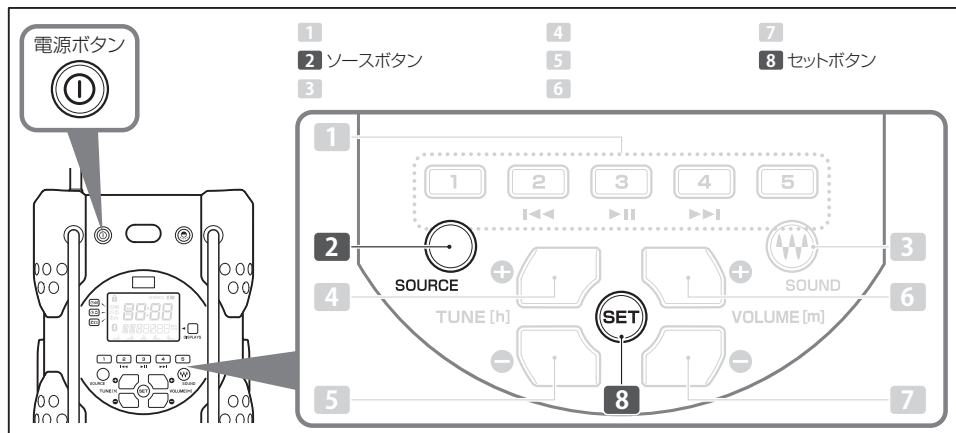
この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2	.	4	F	H	4

## 機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。但し、本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

## 外部機器を接続して聴く (Bluetooth)



### 機器をペアリング (登録) する




お使いの機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽をワイヤレスに楽しめます。まず最初にペアリングと呼ばれるお使いの機器を本機に登録する作業を行います。接続する機器の使い方について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

### ⚠ 注意

**外部機器を接続する場合、事前に必ずバックアップをしておく。**

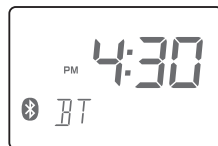


予期できない問題が生じた場合、本製品に接続したスマートフォン、その他の外部機器の内部に保存されているデータが破損したり、消失したりする可能性があります。万一に備え、必ず事前にバックアップをしておいてください。またデータの破損または消失、および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ① 本機の  を押し、電源を**ON**にします。
- ② **SOURCE**  を押し、**BT**入力に設定します。
- ③ **SET**  を**2秒間長押し**すると、液晶画面のBluetoothアイコンが点滅し、本機が登録の待ち受け状態となります (約2分間継続)。
- ④ お使いのBluetooth機器のBluetooth機能を**ON**にし、ペアリング操作を行います。



- ⑤お使いのBluetooth機器で本機の型式【AJ-RD431】が検索されたら選択し、決定します（パスコード入力を要求された場合は、【0000】を入力してください）。
- ⑥15秒ほどで液晶画面のBluetoothアイコンが**点滅から点灯に変わり**、本機とBluetooth機器のペアリング及び接続が完了します。



※全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。必ず事前に接続の可否を確認してください。

※本機のペアリングモードは約2分で解除され、Bluetoothアイコンが消灯します。手順が完了する前に本機のペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度③から操作してください。

※本機のパスコードは「0000」に固定されています。パスコードが「0000」でないBluetooth機器とペアリングすることはできません。

※本機は合計8台までのBluetooth機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。

※一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。



- ・修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- ・9台以上の機器をペアリングし、ペアリング情報が上書きされ、消去されたとき。

※本機は複数の機器とペアリングできますが、それらを同時に接続することはできません。

※すべてのペアリング情報を削除するにはSOURCEがBTの状態で、プザーアラームボタンとプリセットボタン1を同時に2秒長押ししてください。すべてのペアリング情報は削除されます。

## ペアリング（登録）済みの機器を再接続する

1度ペアリングしたBluetooth機器は、次回から簡単に使用することができます。接続する機器の使い方について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

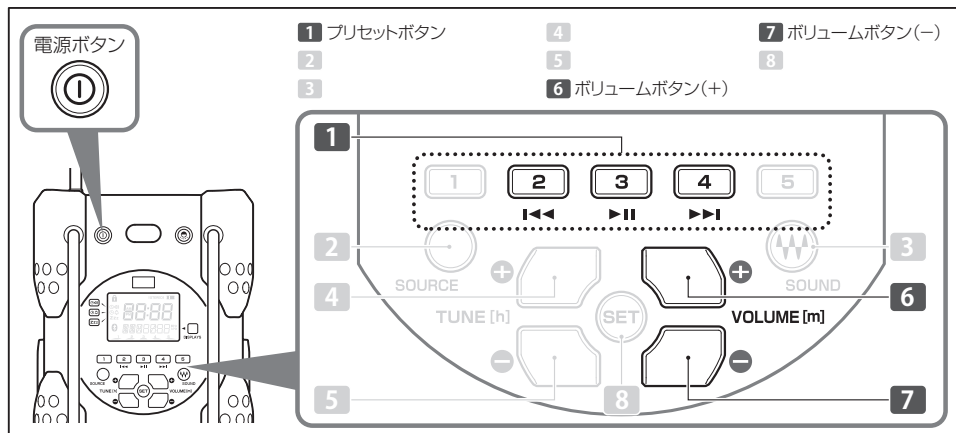
- ①本機の  を押し、電源を**ON**にします。
- ② SOURCE  を押し、**BT**入力に設定します。
- ③お使いのBluetooth機器のBluetooth機能を**ON**にします。
- ④5秒ほどで液晶画面のBluetoothアイコンが**点滅から点灯に変わり**、本機とBluetooth機器の接続が完了します。



※複数のBluetooth機器とペアリングした場合、最後にペアリングした機器とのみ、自動で再接続します。それ以前に登録した機器と再接続する場合には、接続する機器の操作にてBluetooth接続先に本機を再度選ぶ必要があります。



## 外部機器を接続して聴く (Bluetooth)



### Bluetooth接続で音楽を聴く

お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応していれば、本機で音楽を聞いたり、本機から機器を操作したりできます。

<b>A2DP</b>	(Advanced Audio Distribution Profile)	高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
<b>AVRCP</b>	(Audio Video Remote Control Profile)	機器の基本的なリモコン操作 (再生・一時停止など) ができます。

操作はBluetooth機器によって異なることがあります。Bluetooth機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

#### ご注意

- 本機はA2DPとAVRCP接続の受信専用機です。  
受信したラジオ放送等を他のBluetooth端末に送信することはできません。
- 本機には、携帯電話と接続して通話する機能 (プロファイル: HFP・HSP) はありません。

#### ⚠ 注意



Bluetooth機器で音楽を聴く際は、機器の音量を下げて接続する。  
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。



①本機とBluetooth機器を接続する。 P.21, 22 参照

②Bluetooth機器を適度な音量にして、本機の  VOLUME [m] どちらかで  音量を調節します。

③Bluetooth機器が機器操作機能 (対応プロファイル : **AVRCP**) に対応していれば、本機にて以下の操作が可能です。



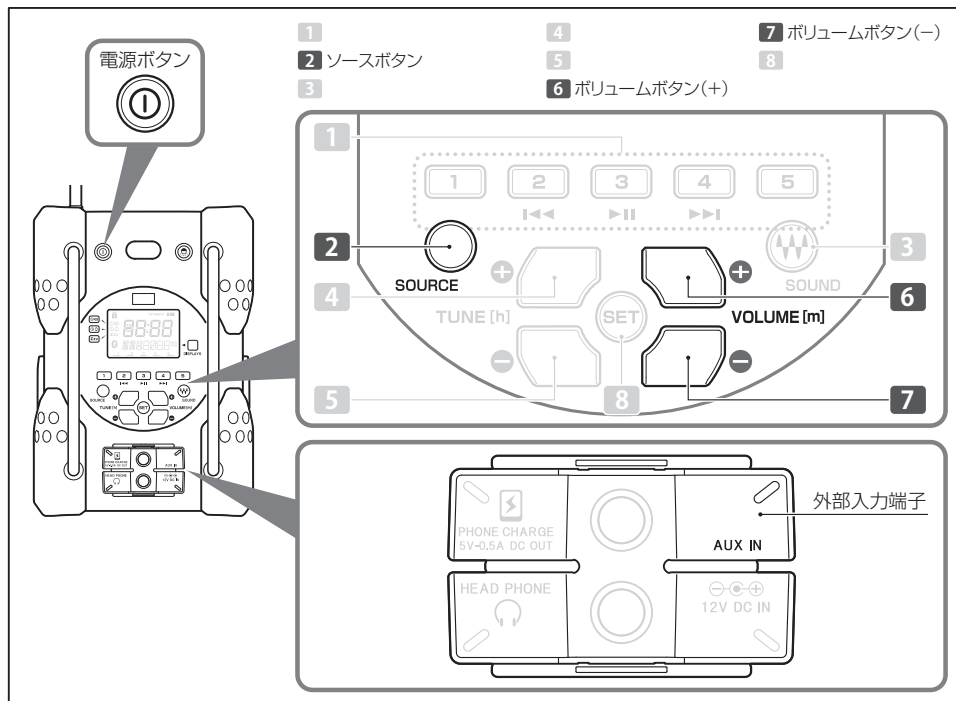
機器によってできる機能は異なります。お使いの機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

## Bluetooth接続を終了させるには

終了させるには以下の手順のいずれかを行ってください。

- Bluetooth機器のBluetooth機能をOFFにする。  
詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器の電源をOFFにする。
- 本機の電源をOFFにする。

## 外部機器を接続して聴く (AUX-IN)



### 外部入力端子接続で音楽を聴く

本機では、スマートフォンや携帯音楽プレーヤーなどの外部機器の音楽を聴くことができます。

### ⚠ 注意



**外部機器を接続し音楽を聴く際は、機器の音量を下げて接続する。**

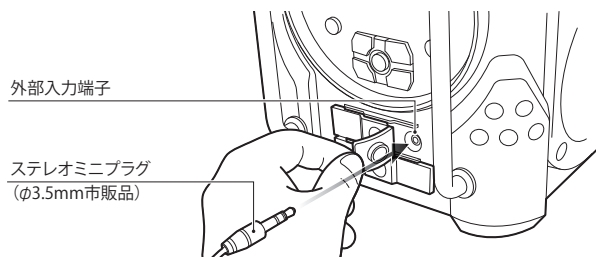
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。



**出力の大きいヘッドホンアンプやオーディオアンプの出力はつながらない。**

スマートフォンや音楽プレーヤー専用の端子です。大きい出力の機器を接続すると、音がはずんだり、故障の原因になります。

- ①本機および外部機器の電源が切れている状態で、ステレオミニプラグ（φ3.5mm市販品）を本機前面の**外部入力端子**に接続します。



- ② **①** を押し、電源を**ON**にします。

- ③ **SOURCE**  を押し、**AUX** を選択します。



- ④外部機器の電源を入れ音楽を出力してください。

- ⑤機器を適度な音量にして、本機の  **VOLUME [m]** どちらかで音量を調節します。

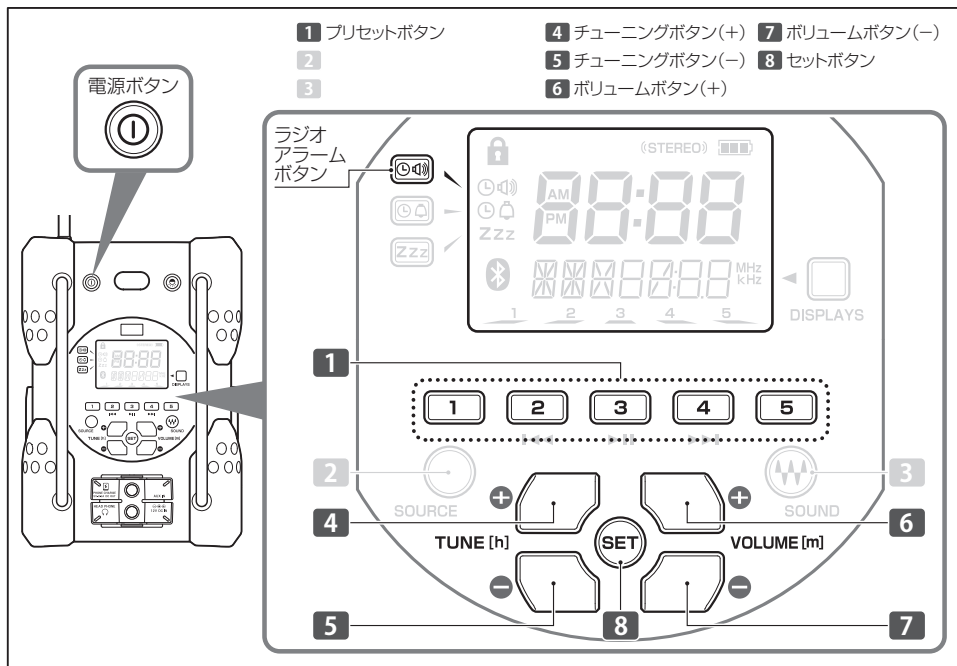
- ⑥再生を止める場合は、外部機器の再生を停止するか、本体の **①** を押し、電源を**OFF**にします。

※接続ケーブルは外部機器の出力端子の種類にあったものをお買い求めください。

※外部機器側の音量が小さいと音量が満足に上がらない場合があります。

※外部機器をとりはずすときは、それぞれの電源を切ってから接続ケーブルをはずしてください。

## タイマー機能を使う



## ラジオアラームを使う

ラジオアラーム機能を設定すると、設定した時刻に設定したラジオ放送を聴くことができます。

### ① 設定開始

を2秒間長押しします。



### ② 時刻設定






で時間 (h)、 で  
分 (m) を調整します。 を押します。



### ③ ラジオ設定

または で  
FMかAMを選択します。 を押します。



- ④放送局設定 手動選局または  
プリセット選局(      )  
にて放送局を選びます。 P.17,18 参照



 を押します。

- ⑤音量設定
-   VOLUME [m] で好みの音量に設定  
します。 を押します。



- ⑥スヌーズ設定
- TUNE [h]   または VOLUME [m]   で  
スヌーズ機能ON / OFFを選択します。



 を押します。

- ⑦設定完了 設定した時刻になると、ラジオが鳴りだします。



※アラーム設定は時計設定をしている場合にしかできません。

※アラーム機能によりONになったラジオを消すにはスヌーズ機能のON/OFFによって、以下の2パターンにわかれます。

**スヌーズをOFFにした場合**

電源ボタン、またはラジオアラームボタンを押してください。電源がOFFになります。

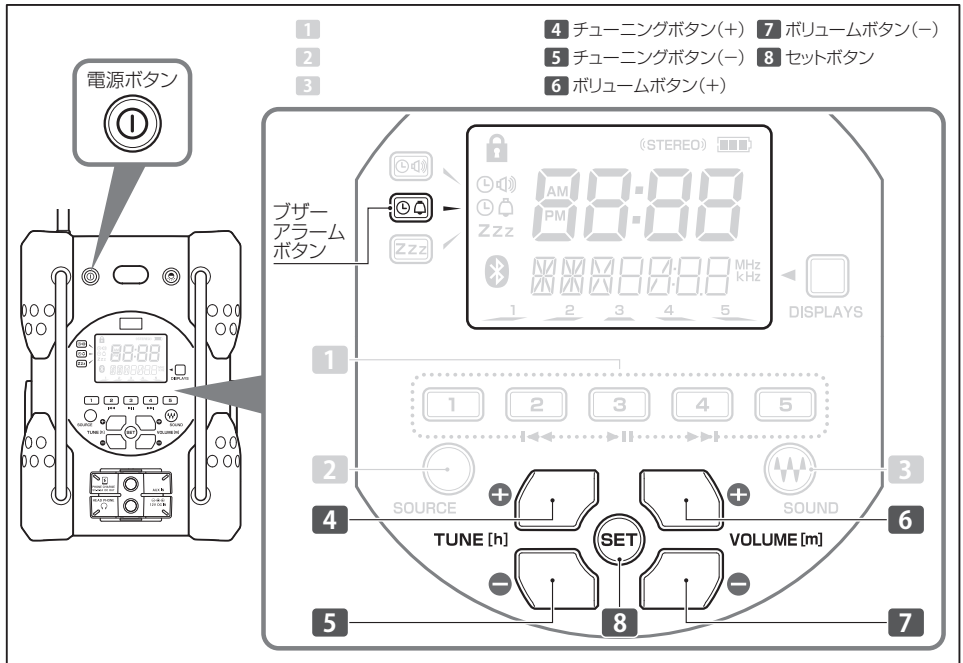
**スヌーズをONにした場合**

電源ボタン、ラジオアラームボタン以外のいずれかのボタンを押すと、一時的にアラームがOFFになります。10分後に再びラジオが鳴ります。

完全にアラームを切るには、電源ボタンまたはラジオアラームボタンを押してください。

※一度ラジオアラームを設定した後に再び同じ設定時間でラジオアラームを使用する場合は、ラジオアラームボタンを押すことで簡単にセットすることができます。

## タイマー機能を使う



## ブザーアラームを使う

ブザーアラーム機能を設定すると、設定した時刻にブザーでお知らせすることができます。

① 設定開始  を2秒間長押しします。



② 時刻設定

TUNE [h] で時間 (h)、VOLUME [m] で分 (m) を

調整します。 を押します。



### ③音量設定



VOLUME [m] で好みの音量に設定します。



 を押します。

### ④スヌーズ設定



スヌーズ機能ON／OFFを選択します。

 を押します。

### ⑤設定完了

設定した時刻になると、**ブザー**が鳴りだします。



※アラーム設定は時計設定をしている場合にしかできません。

※アラーム機能によりONになったブザーを消すにはスヌーズ機能のON/OFFによって、以下の2パターンにわかれます。

#### スヌーズをOFFにした場合

電源ボタン、またはブザーアラームボタンを押してください。電源がOFFになります。

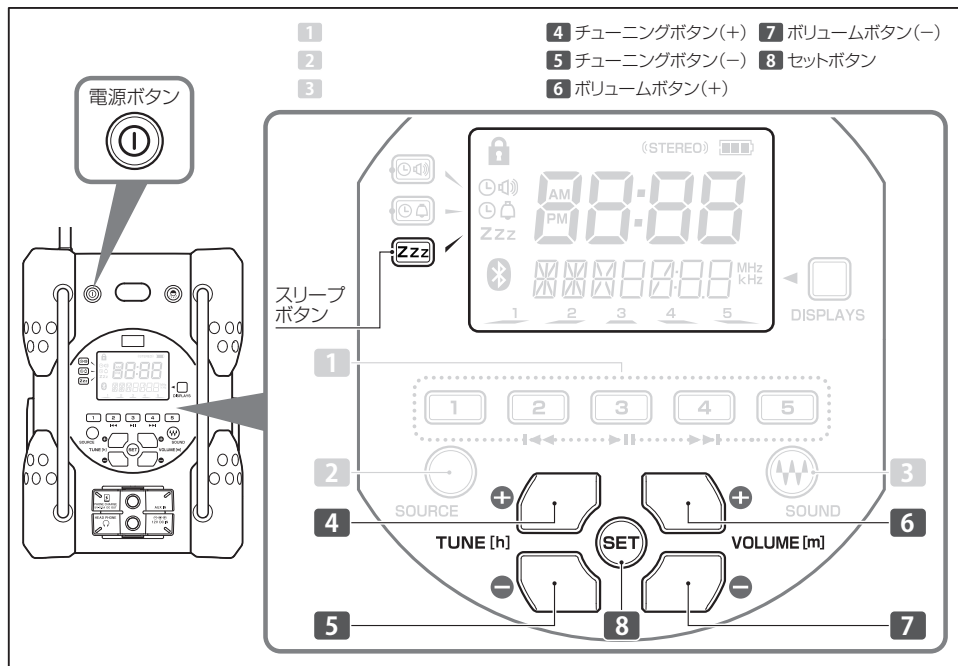
#### スヌーズをONにした場合

電源ボタン、ブザーアラームボタン以外のいずれかのボタンを押すと、一時的にアラームがOFFになります。10分後に再びブザーが鳴ります。

完全にアラームを切るには、電源ボタンまたはブザーアラームボタンを押してください。

※一度ブザーアラームを設定した後に再び同じ設定時間でブザーアラームを使用する場合は、ブザーアラームボタンを押すことで簡単にセットすることができます。

## タイマー機能を使う



### スリープタイマーを使う

スリープタイマー機能を設定すると、設定した時間で電源を切ることができます。

① **設定開始** ① を押し、電源を**ON**にします。

② **Zzz** を**2秒間長押し**します。



② **時間の設定** TUNE [h] または VOLUME [m] で



設定時間 (10~90分の10分刻み) を調整します。⑧ を押します。



③ **設定完了** 設定した時間が過ぎると、本機の電源が自動で**OFF**になります。



※スリープタイマーは電源ON時にしか設定できません。

※一度スリープタイマーを設定した後に再び同じ設定時間でスリープタイマーを使用する場合は、スリープボタンを押すことで簡単にタイマーをセットすることができます。

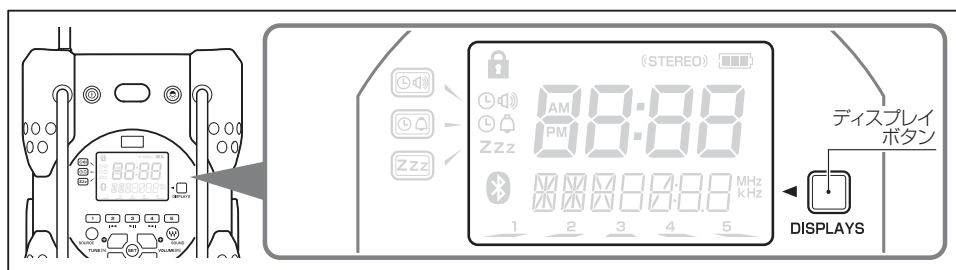
※Bluetooth接続や外部入力端子接続で外部機器を再生時にスリープタイマーを使う場合、外部機器の電源はOFFになりません。電池の消耗にご注意ください。

※スリープタイマー機能ONの状態を途中で解除するには、スリープボタンを押してください。機能が解除され、スリープアイコンが消灯します。

※残り時間を確認するには、ディスプレイボタンを何度か押し、残り時間を表示してください。




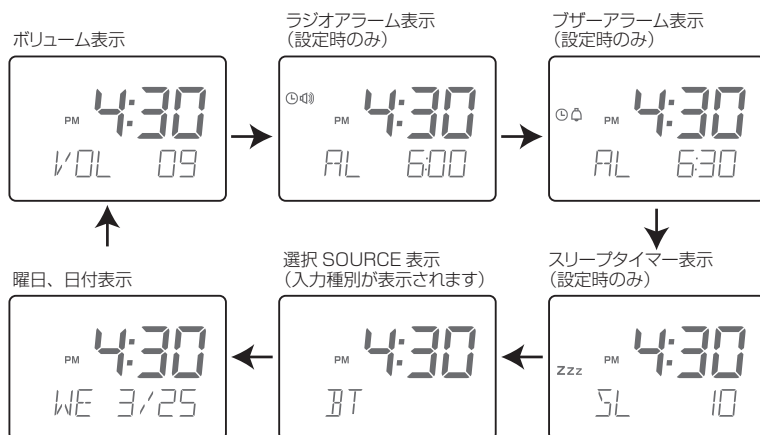
## その他の操作



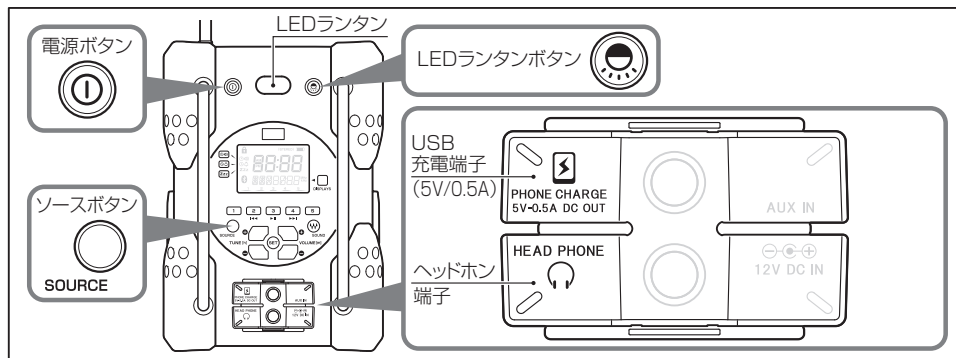
## ディスプレイボタンについて

本機は、液晶のファンクション表示欄に表示する内容を、お使いになる方の好みで変更できます。表示できる内容は、下記の6つです。

お好みに応じて  を押して切り替えてください。



## その他の操作



### 携帯電話を充電する

本機にはスマートフォンや携帯電話を充電することのできるUSB端子が付属しています。

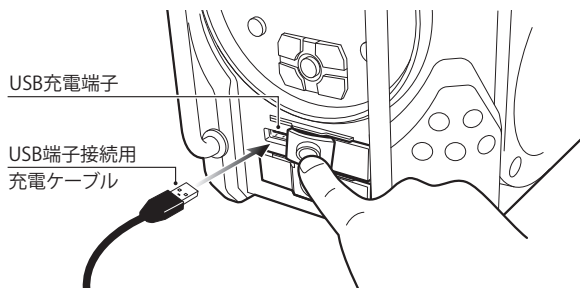
#### ⚠ 注意

**外部機器を接続する場合、事前に必ずバックアップをしておく。**

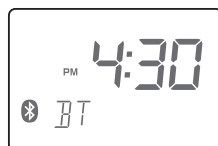


予期できない問題が生じた場合、本製品に接続したスマートフォンや携帯電話、その他の外部機器の内部に保存されているデータが破損したり、消失したりする可能性があります。万一に備え、必ず事前にバックアップをしておいてください。またデータの破損または消失、および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ① ご使用のスマートフォンや携帯電話にあった、市販のUSB端子接続用充電ケーブルを、本体の電源を**OFF**にした状態で、本体前面の**USB充電端子**に接続します。



- ② ① を押し、本機の電源を**ON**にしてください。
- ③ SOURCE を押し、「FM」「BT」「AUX」のいずれかに設定すると、充電を開始します。



※AMラジオ放送はその周波数特性上、USB充電時のノイズにより受信状態が極端に悪化するため、AMラジオ聴取時には回路の電流をカットしており、充電はできません。

※本USB端子は、電源供給のみの機能です。データ通信機能はありません。

※本USB端子は、USB2.0標準規格に準拠しています。出力は5V/0.5Aです。タブレット端末等の大型の機器の充電はできません。

※全てのスマートフォンや携帯電話を充電できることを保証しているわけではありません。あらかじめ充電の可否をご確認ください。

※本機の電源として電池パックを使う場合は、十分充電されている状態でご使用ください。電池パックの充電容量が少なくなると、スマートフォンや携帯電話の充電ができなくなります。

※充電時間は、ご使用の機器によって異なります。

※スマートフォンや携帯電話の充電以外の用途には使用しないでください。

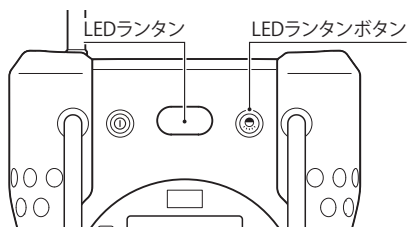
## LEDランタンを使用する

本機には簡易のランタン機能がついています。


### ⚠ 注意



**点灯中のLEDランタンは直視しない。**  
目を痛めるおそれがあります。



本機電源のON/OFFにかかわらず、

全面右上の  を押しと、前面上部中央の**LEDランタン**が点灯します。

もう一度押しと消灯します。

## ヘッドホンで聞く

市販のヘッドホンやイヤホンを使って音声を聞くことができます。

### ⚠ 注意



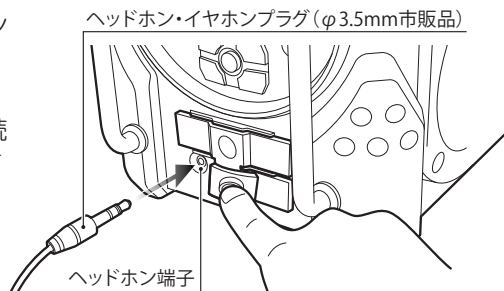
**ヘッドホン、イヤホンを接続する前に、必ず音量を下げる。**  
突然大きな音になると、聴力障害の原因となることがあります。



**ヘッドホン以外のものをつながない。**  
ヘッドホン専用の端子です。それ以外のものをつなぐと故障の原因となります。

- ①市販のヘッドホン、あるいはイヤホンを、本体前面下部の**ヘッドホン端子**に接続します。  
ヘッドホン、あるいはイヤホンを接続すると、本機のスピーカーからの音声は出力されません。

- ②音量を調整してください。



# 性能を維持するために

## お手入れについて

### 注意



長期間使用しないときや、点検・手入れの際は、必ずACプラグ・電池パック・乾電池を製品本体から抜く。

## 本体はきれいに

機体が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、そのあとに乾拭きしてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので、使わないでください。

## 取付けねじの点検

時々点検して、緩んでいたら、締めなおしてください。

## 製品の保管

次のような場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 自動車の車内や、直射日光のあたるところなど高温になるところなど
- 冷気が直接吹き付けるところや、極端に寒いところ
- 温度が急変するところ
- 調理台や加湿器のそばなど、煙や湯気があたる場所

## 故障かな?と思ったら

### 通常使用時に関して

現象	確認すること	対策
電源が入らない	<b>【専用電池パック使用の場合】</b> ・電池パックが入っていますか? ・電池パックの残量が十分に ありますか?	十分に残量のある専用電池パックを使用してください。
	<b>【ACアダプタ使用の場合】</b> ACアダプタがACアダプタ接続 端子とコンセントにしっかり 差し込まれていますか?	ACアダプタをACアダプタ接続端子とコンセントにしっかり差し込んで使用してください。
電源が切れてしまう	電源をONしてから8時間以上 たっていないですか?	本機は、ONしてから8時間後に自動 で電源がOFFになる機能を搭載して います。
	電池パックの残量が無くなって いませんか?	電池パックを再度充電してからご使用 ください。
音が出ない	音量が0になっていませんか?	音量を調整してください。
	ヘッドホンが差し込んであり ませんか?	ヘッドホンで聴くとき以外は、 ヘッドホンを抜いてください。
	聴きたい入力ソースになって いますか?	SOURCEボタンを押し、聴きたい 入力ソースに変更してください。
AUXやBTで聞いた 場合に、音が小さい	外部機器端末の設定音量が 小さくなっていませんか?	外部機器端末の設定音量を大きくして ください。
携帯電話が充電できない	ファンクション表示にAMと 表示されていませんか?	AMラジオ放送を受信中は充電する ことはできません。(P.34参照)
	携帯電話の純正品でない充電 ケーブルを使用していないですか?	携帯電話の純正ケーブルを使用して ください。ケーブルによっては充電 できない場合があります。
	携帯電話の充電端子がUSB2.0 規格に対応していますか?	本機はUSB2.0規格の電源供給規格 です。USB2.0に非対応の携帯電話は 充電できません。
	タブレットを充電しようと していませんか?	一般的にタブレットは充電で必要な電流 値が高い場合が多く、本機では充電する ことができません。
雑音が入る	近くにコンプレッサや充電器、冷蔵 庫などのノイズの元となる電気製 品、または携帯電話などの電波を 発する機器がありませんか?	ノイズや電波を発する機器から、本機を 離してください。ACアダプタを使用する 場合、それらと異なる電源を使用し てください。

## Bluetooth機器との接続に関して

現象	確認すること	対策
ペアリングできない	本機が登録の待ち受け状態 (Bluetoothアイコンの点滅状態) になっていますか?	P.21,22 の操作方法に従って、ペアリングの待ち受け状態にしてください。
	Bluetooth機器のメモリがいっぱいになっていませんか?	Bluetooth機器を再起動させ、メモリを開放してください。
	Bluetooth機器の操作を間違っていないですか?	Bluetooth機器の取扱説明書をもう一度確認してください。
	プロファイル「A2DP」「AVRCP」に対応したBluetooth機器ですか?	本機はプロファイル「A2DP」「AVRCP」にのみ対応しています。ハンズフリーやヘッドセット機器は接続できません。
(ペアリングはしたが) 接続できない	接続したい機器とは別のBluetooth機器と接続されていますか?	再度 P.21,22 の操作方法に従って、接続したいBluetooth機器と接続操作を行ってください。
音が出ない 音が途切れる 音が飛ぶ	本機とBluetooth機器とが離れすぎていませんか?	本機のBluetooth機能はCLASS2です。見通しの良い10m以内の距離でご使用ください。
	本機とBluetooth機器とが正しく接続されていますか?	距離が離れた、障害物で電波が途切れた等の理由により、一度接続した機器が切断されてしまう場合があります。本機液晶画面のBluetoothアイコン、Bluetooth機器の接続状況を確認し、切断されている場合には再度 P.21,22 のペアリング操作を行ってください。
	無線LANや他の2.4GHz無線機器や電子レンジなどが近くにありませんか?	本機で使用している周波数帯は無線LANや電子レンジで使用する帯域と重なります。これらが近くにあると、混線やノイズの原因になります。速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止 (電波の発射を停止) してください。

## 保証とアフターサービスについて

### 保証について

- 本機には保証書がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 本機の保証期間はご購入日より1年間です。

### アフターサービスについて

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復に十分な技術と設備を有するマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、ご購入求めの販売店を通じてご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがのおそれがあります。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

マックス株式会社 機工品ホームページ

<http://wis.max-ltd.co.jp/kikouhin/index>



●マックスお客様ご相談ダイヤル

月～金曜日 午前9時～午後6時

☎0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

# マックス株式会社

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL (03) 3669-8121(代)

## 支店・営業所

札幌	支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141(代)
仙台	支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121(代)
盛岡	営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL (019) 621-3541(代)
新潟	支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112(代)
東京	支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8118(代)
群馬	営業所	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075(代)
長野	営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377(代)
関東	営業所	〒300-0811	土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322(代)
千葉	営業所	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL (043) 422-7400(代)
名古屋	支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619(代)
静岡	営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535(代)
大阪	支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06) 6444-2035(代)
京都	支店	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061(代)
神戸	営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL (078) 367-1580(代)
広島	支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331(代)
福岡	支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 411-5416(代)
南九州	営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347(代)

## 販売関係会社

埼玉マックス	(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341(代)
横浜マックス	(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661(代)
多摩営業所		〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051(代)
金沢マックス	(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1873(代)
岡山マックス	(株)	〒700-0971	岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516(代)
四国マックス	(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599(代)

## マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション		〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820(代)
埼玉サービスステーション		〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448(代)
札幌サービスステーション		〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487(代)
仙台サービスステーション		〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778(代)
名古屋サービスステーション		〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624(代)
大阪サービスステーション		〒553-0004	大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06) 6446-0815(代)
広島サービスステーション		〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670(代)
福岡サービスステーション		〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。



YOM200162-0001

4011502  
140513-00/00



## 便利メモ

お名前	商品名 AJ-RD431
お買い上げ日 年 月 日	製造番号
販売店名	☎